


令和3年度退職教員の紹介

部 局 名	大学院理学系研究科・理学部	
氏 名	日比谷 紀之	
職 名	教授	
本学在職期間	昭和62年4月～平成4年2月、平成7年10月～令和4年3月	
所 属	地球惑星科学専攻 大気海洋科学講座	
専 門 分 野	海洋物理学	
略 歴	<p>昭和55年3月 本学理学部卒業</p> <p>昭和57年3月 本学大学院理学系研究科修士課程修了</p> <p>昭和60年9月 本学大学院理学系研究科博士課程修了、理学博士</p> <p>昭和60年10月 本学大学院理学系研究科 研究生</p> <p>昭和62年4月 本学地震研究所 助手</p> <p>平成元年5月 ブリティッシュ・コロンビア大学(カナダ) 海洋物理学 博士研究員</p> <p>平成2年5月 ワシントン大学(アメリカ) 地球物理学 博士研究員</p> <p>平成4年3月 北海道大学大学院理学研究科 助教授</p> <p>平成7年10月 本学海洋研究所 助教授</p> <p>平成10年11月 本学大学院理学系研究科 助教授</p> <p>平成12年4月 本学大学院理学系研究科 教授</p> <p>平成22年4月 本学総長補佐(平成23年3月まで)</p> <p>平成25年4月 本学海洋アライアンス機構 機構長(平成31年3月まで)</p>	
研 究 内 容	<p>Hibiya, T., M. Nagasawa and Y. Niwa, “Nonlinear energy transfer within the oceanic internal wave spectrum at mid and high latitudes” , <i>Journal of Geophysical Research: Oceans</i>, 107(2002): 3207.</p> <p>Hibiya, T. and M. Nagasawa, “Latitudinal dependence of diapycnal diffusivity in the thermocline estimated using a finescale parameterization” , <i>Geophysical Research Letters</i>, 31(2004): L01301.</p>	